

会 議 録

会 議 名	第 2 3 期小金井市公民館企画実行委員の会議 第 8 回		
事 務 局	公民館貫井北分館		
開 催 日 時	平成 2 7 年 3 月 3 日 (火) 午前 1 0 時から正午		
開 催 場 所	公民館貫井北分館 学習室D		
出 席 委 員	小川委員、宮崎委員、師岡委員、吉田委員、若井委員		
欠 席 委 員			
事 務 局 員	倉橋副理事長、村山分館長、伊藤副分館長、野津、星		
傍 聴 の 可 否	可	傍 聴 者 数	0 人
傍 聴 不 可 ・ 一 部 不 可 の 場 合 は 、 そ の 理 由			
会 議 次 第	<p>1 報告事項</p> <p>① 26 年度子育て・子育て支援 イライラの消しゴム</p> <p>② 26 年度成人学校 私らしい生き方</p> <p>③ 26 年度男女共同参画講座 きたまち保育サポーター講座</p> <p>④ 26 年度若者コーナー きたまちキッチンー若者編ー</p> <p>⑤ 26 年度若者コーナー きたまちリズムダンス</p> <p>⑥ 27 年度成人学校 四季の花づくり</p> <p>⑦ 27 年度高齢者学級 はなみずき学級</p> <p>⑧ 27 年度市民講座福祉関連講座 介護者サポーター講座</p> <p>2 審議事項</p> <p>① 27 年度文化・芸術活動 陶芸入門教室</p> <p>② 27 年度成人学校 地域研究</p> <p>③ 27 年度健康づくり 健康づくり講座 (夜)、(昼)</p> <p>④ 27 年度若者コーナー</p> <p>3 その他</p> <p>① 第一回貫井北センターまつり</p>		

	<p>② 次回第9回企画実行委員会議 4月7日（火）午前10時から</p>
<p>会議内容</p>	<p>1 報告事項</p> <p>宮崎：講座の報告をお願いします。</p> <p>星：子育て・子育て支援 イライラの消しゴムの報告をします。心理に焦点をあてた講座の講師は「相手に過度に期待しないで、まず自分から変わってみる」、生活リズムと身体の関係を解説した講座の講師は「普段の生活習慣が大切」という言葉で講座を終えました。自分の気持ちや身体の健康、それぞれのバランスへの気づきにつながりました。</p> <p>小川：受講者が真剣に聞いていました。子育ての中の不安を論理的に説明していました。子育て以外でも使える方法だと思います。グループでも活発に話合いがもたれていました。</p> <p>宮崎：私の生き方の報告をお願いします。</p> <p>村山：20代、30代の年齢層を取り込んで貫井北分館を知ってもらいたいという狙いがありました。女性が22人、男性が2人の24人でした。市外が16人いました。1回目の講師はプロのコラムニストでした。話術に長けていたので、個々の問題を、一般的な問題として解説していました。受講者の感想にも、さまざまなものが挙がっています。2回目は「私」や「私らしさ」や「生き方」について話合いました。3回目はハーブを介して、ゆったりとした時間を共有しました。</p> <p>小川：若い人たちが真剣に質問して、相談していました。講師によっては若い人が集められると思いました。2回目は議論する方法や、本質について考え合い、3回目はみんなで作り合うところが興味深かったです。</p> <p>若井：2回目と3回目に参加しました。発言する人と聞く人を区別したワークショップの形式が良い方法で</p>

した。ハーブは、おいしく、リラックスすることができました。

宮崎：男女共同参画講座についてお願いします。

伊藤：39才から69才までの20人が参加しました。講座ではふり返りの時間を大切にしました。講座の終了後は、きたまち保育サポーターとしての今後の関わり方を話し合っています。

宮崎：講座を受けて、女性だけの問題ではないと思いました。広く社会で考えていくべきテーマだと思います。

吉田：ご自身の経験を通して、これからは地域にお返しする番だという意識の高さを感じます。

宮崎：きたまちキッチン若者編の報告をお願いします。

伊藤：小学5年生から88才まで、料理を作ること（お菓子づくり？）を通して幅広い世代の交流をしました。簡単なのに本格的で、おいしいものができました。25才くらいまでという年齢制限をはずしたことで、受講者の中で、会話と気持ちの交流が生まれました。

吉田：異なる世代が集まると普段できない話ができるのか、世代間交流という意図が達成できました。良い感想をもらい、楽しみました。

野津：生活室の使い勝手はどうでしたか？

伊藤：アイランドキッチンではないので、料理の講座では工夫が必要な部分があります。

宮崎：きたまちリズムダンスの報告をお願いします。

伊藤：まちの先生によるななめの交流を目指して、学生が企画しました。5才から80代まで15人が参加しました。ストレッチと手拍子とステップで、幅広い世代で楽しめる構成でした。グループに分かれてテーマを決めて楽しんで、非常に有意義でした。今後は、異なる学校の学生の交流を進める講座、企画づくりに特化した講座もやっていきたいと思っています。

宮崎：来年度の四季の花づくりの進捗状況を報告してください。

星：今年は寄せ植えを作り、野外研修では市民による取り組み例を見学しました。受講者からは、仮配置の過程で講師がついていて欲しい、花の知識についてもっと深めたいという希望がありました。来年度は今あるものの植え替えや野外実習でデザインを学べるようにしたいと思います。予算に限りがあり、全ての過程で講師をお願いできません。野外研修を取り入れることで、デザイン・実習と、花の知識を学ぶということを両立できるような構成にします。

宮崎：花に触れ、いい香りがすると楽しいですね。来館者も花をみて楽しんでいるようです。

吉田：仮配置の時には、作業も難しく、意見が別れることもありますので、講師がいると良いですね。庭木の知識についても要望が出ていました。

宮崎：はなみずき学級の報告をお願いします。

野津：2回分の英会話の講師を探していますが、開催が難しいかもしれません。

若井：2時間の2回で、おもてなしのための英会話をマスターする内容となると大変ですね。30人を相手にするので、講師の技術や準備、実施時間としても難しいと思います。

野津：それでは、英会話を、国際交流などの講師に変更します。

2 審議事項

宮崎：介護者養成について説明してください。

野津：介護者養成講座は、今後の認知症カフェを支える人材育成のためのものです。企画実行委員を決めたいと思います。若井委員と、師岡委員と、小川委員をお願いします。

野津：3月は「認知症を理解する」という講座がありますので、できれば参加してください。

宮崎：陶芸入門教室について説明してください。

村山：今年は、先生の工房にも近く、貫井北としての特色が出せたと思います。来年度は土・日開催で、これまで参加できなかった人の参加機会を促したいと思います。先生の予定の都合で、6月・7月の開催になります。伝統文化の若い世代への普及を目指して、年齢層を若い世代に限定してみたいと思います。

野津：陶芸窯の使用に「入門教室受講者」という条件があります。落選者や問い合わせもありますので、年齢層を広げても良いと思います。

若井：学生はその時期、試験がありますね。

星：40代まで広げていただけたら、子育て世代が参加することもできます。

若井：若者を対象にするなら若者コーナーがありますね。一般向けが少なくなります。

村山：いろいろな意見を聞くことができ、うれしいです。他館、陶芸入門教室参加者、年齢制限の設定など、いろいろな状況を踏まえながら考えていきたいと思います。企画実行委員と構成をつめていきます。

吉田：やります。

師岡：やります。

宮崎：次は地域研究です。

野津：地域研究は貫井地域の歴史についての講座です。古文書の会の代表が来館された際に聞きましたら、貫井地域の古文書が残っていますので、古文書を読む講座もできると思います。担当は小川委員と宮崎委員にお願いします。

宮崎：次は健康づくり講座（夜）と（昼）です。

野津：夜は、子どもから大人まで楽しめるような内容にしたいと思います。一緒にやっていただけますか？

師岡：やります。

野津：昼のほうは高齢者向けのものをやります。

若井：やります。

宮崎：若者コーナーをお願いします。

伊藤：先月も決めましたが、今回はもっと内容を細かくします。若者コーナーでは、学生が自主的に企画する講座以外の、若者コーナーの運営と活用、世代間交流の推進、進路就活講座の担当を決めたいと思います。

若井：やります。

吉田：やります。

3. その他

宮崎：貫井北センターまつりについて説明をお願いします。

村山：前日27日午後3時から、28日、29日の3日間、貫井北センターまつりをサポートしてください。

野津：大樹映美さんのリサイタルは主催講座です。28日午後1時30分から北町ホールでの入場でスリッパと靴袋を配る係を師岡委員、若井委員をお願いします。

野津：29日12時30分から、バルーンアートの時にも、お手伝いをお願いします。

若井：やります。

野津：29日午前10時から、駐輪場の担当をしてください。

宮崎：貫井北センターまつりは全員の協力をお願いいたします。その他にありますか？

村山：添付の議事録は、今週中に修正をお知らせください。次回は4月7日、10時から、司会は師岡さんです。